週間外食ニュース the Food news of *the week*

2022年6月12日号　毎週:日曜日配信

経営者に必須の業界動向情報を発信します

発信元 ： 食百年の会 事務局

編集者 ： 岡本 裕

【先週 6月5日～6月11日の外食の出来事】

■コメダ珈琲、香港はイオンとエリアFC契約 海外目標80店舗。

株式会社コメダが、永旺百貨有限公司との間で「コメダ珈琲店」の香港おけるエリアフランチャイズ契約を締結する。イオンストアーズ香港は、イオン株式会社のグループ会社で香港メインボードに上場している。

■ピエトロ、2022年3月期(2021年4月～2022年3月)の連結業績

2022年3月期 通期の連結業績を発表。売上高85億4000万円(対前年同期比0.2%減)、営業利益3億5300万円(同39.6%減)、経常利益3億6900万円(同35.8%減)、当期純利益1億6500万円(同48.5%減)であった。

■すかいらーく、5分未満切り捨ての賃金支払いへ

7月から、5分未満を切り捨てていた労働時間の計算を、1分単位に変えると明らかにした。切り捨てていた分の賃金は過去2年間分をさかのぼって支払う。支払い対象は約9万人総額16億～17億円になる見込み。

■くら寿司、営業利益25%減 原料高や広告費響く

2021年11月～22年4月期の連結決算は、営業利益が前年同期比25%減の3億2300万円だった。時短営業に伴う助成金収入を30億円計上して利益を押し上げ、純利益は22億円と3.3倍になった。

■スシローに措置命令 ウニやカニで「おとり広告」

提供を中止したすしのメニューを取り扱っているかのようにテレビコマーシャルなどで宣伝したとして、消費者庁は、回転ずしチェーン「スシロー」を景品表示法違反（おとり広告）を認定し、再発防止を求める措置命令を出した。

■銀座ルノアール、2022年3月期(2021年4月～2022年3月)の連結業績

2022年3月期 通期の連結業績を発表。売上高45億5700万円(対前年同期比9.2%増)、営業損失12億3700万円(－)、経常損失4500万円(－)、親会社株主に帰属する当期純利益3億4700万円(－)であった。

■一家ホールディングス、`22年3月期(`21年4月～`22年3月)の連結業績

2022年3月期 通期の業績を発表。売上高44億2400万円(前年同期比－)、営業損失7億2900万円(－)、経常損失7億5100万円(－)、親会社株主に帰属する当期純利益1億8900万円(－)であった。

■ヴィア・ホールディングス、`22年3月期(`21年4月～`22年3月)の連結業績

2022年3月期 通期の連結業績を発表。売上高102億5800万円(対前年同期比15.7%減)、営業損失11億2300万円(－)、経常損失8億2700万円(－)、親会社株主に帰属する当期純利益5億4300万円(－)であった。

■キャッシュレス比率、21年32.5%。経産省の将来目標、80%

経済産業省が2021年のキャッシュレス決済比率は、32.5%と発表した。20年は29.7%だったので、2.8%ポイント上昇。内訳は、クレジットカードが27.7%、デビットカードが0.92%、電子マネーが2.0%、QRコード決済が1.8%。